

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 40 | 以前はしていたが、現在食事は利用者と別に摂っている。 | 1日1食からでも一緒に食べる機会を設け、さらに家庭的で和やかな雰囲気作りに努めていく。 | ・全職員の意見をGH会議にて再確認した上で管理職会議にかけ、1日1食からでも利用者と一緒に食事が摂れるようにする。 ⇒4/1より昼食のみ一緒に食事するように取り組んでいる。 | 1ヶ月 |
| 2 | 2 | 高齢化が進んでいることもあり、施設内で過ごすことが多くなりがちである為、外部との関わり(地域との交流)を少しずつ増やしていけるようにする。 | 地域との交流の機会を少しずつ増やしていけるようにする。 | ・毎日の散歩の中から近隣住民や農家の方との関係作り。 ・月1回の個別外出や施設内行事を確実に実施する。 ・家族へ協力依頼し希望者の外出の機会を増やす。 | 6ヶ月 |
| 3 | 13 | 日々変化していくご利用者様に対し一人ひとりの認知症による心身状態を理解した上でのケアがこれからも必要とされており、行っていけるようにその基礎となる職員の認知症介護への知識の向上に努めている。 | 研修や勉強会などで得た情報を知識に変え、日々のケアに活かしていけるようにする。(サービスの質の向上) | ・施設内研修や週1回行われる勉強会への参加を継続する。 ・月1回行われるGH会議での「認知症の勉強」を持ち回り制にし、与えられた情報ではなく自ら勉強する機会を持つ。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。